

令和6年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

新規：今年度目標立案したもの 継続：A評価でも継続して評価を要するもの、またはB以下未達成のもの 完了：目標達成したもの
 評価区分 A：達成した B：概ね達成した C：達成がやや遅れている D：未達成である

区分	項番	目標年度	項目	目標	評価	前年度評価・達成状況	評価	令和6年度の評価・達成状況	担当部署
タスクシェア・タスクシフト	継続	1	令和3年度 看護補助者の配置	看護補助者を適正に配置、活用し、看護職員の業務軽減を図る。夜勤看護補助者を配置する事で、夜間帯の看護師業務軽減を図る。	B	R5年度は、看護補助者の通常採用及び外国人看護師候補者による看護補助者採用で看護師の夜勤業務軽減を図れた。			看護部 総務課
	継続	2	令和3年度 処方・処置・指示入力について	患者の処方（内服・点滴など）オーダーは、担当医師が処方切れ日を確認し、指示切れがないようオーダー入力する。医師での入力が困難な場合には、医師事務作業補助者が代行する。医師は検査・指示・処置・処方などのオーダーを原則15時までに入力する。夕方～夜間帯にかけて各病棟の指示受け後の対応に追われ残業となる。	C	診療科、医師によりまだ守られていない場合（病棟）もある。			医局
	継続	3	令和4年度 病棟クラークの配置	病棟クラーク配置で看護師業務の軽減時間外勤務の減少を図る。	A	3名を4～6階病棟に各1名ずつ配置しており、定着してきた。処遇の検討も含め今後も定着していくように対応していく。			看護部 総務課
	新規	4	令和5年度 注射、内服の指示確認、入力	原則医師が確認する。医師は検査・指示・処置・処方などのオーダーは、15時までに入れる。医師作業補助者が指示の確認代行入力依頼	C	診療科、医師によりまだ守られていない場合（病棟）もある。			医局 （看護部依頼）
	継続	5	令和5年度 医療機器の点検	シリンジポンプ・輸液ポンプなど日々の医療機器の点検を臨床工学技士に依頼することで看護師の負担軽減	C	使用前後の点検は行えている。危機管理システムの一部故障により、使用中点検が紙ベースとなっているため、人工呼吸器以外の使用中点検が施工出来ていない。			臨床工学室 （看護部依頼）
	継続	6	令和5年度 注射、内服の指示確認、入力	原則医師が確認する。医師は検査・指示・処置・処方などのオーダーは、15時までに入れる。医師作業補助者が指示の確認代行入力依頼	C	診療科、医師によりまだ守られていない場合（病棟）もある。			医局 （看護部依頼）
	継続	7	令和5年度 薬剤管理	朝の薬剤（抗生剤・輸液）ミキシング、救急カートの薬剤定数の確認、物流の在庫確認を薬剤師に依頼することで看護師業務の軽減	D	継続対応			薬局 （看護部依頼）
	継続	8	令和5年度 採血・検査の説明 採血、痰採取	・検査前日の検査説明を臨床検査技師にってもらうことで看護師の負担軽減を図る ・輸血同意書の受領、輸血を病棟まで搬送を検査技師にお願いするだけで負担軽減。 ・採血、痰採取を検査技師の方に依頼	D	検査技師による業務対応に至っていない。			検査科 （看護部依頼）
	継続	9	令和5年度 入院時の事務手続き 書類手続き	入院時の必要書類は医事課で説明できないか（例）入院申し込み・預かり金・病衣借用・その他書類の家族への書類郵送手続き	C	入院案内・書類記入方法の動画を作成し、病院ホームページよりいつでも閲覧出来るようにしている。			医事課 （看護部依頼）

令和6年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

新規：今年度目標立案したもの 継続：A評価でも継続して評価を要するもの、またはB以下未達成のもの 完了：目標達成したもの
 評価区分 A：達成した B：概ね達成した C：達成がやや遅れている D：未達成である

区分	項番	目標年度	項目	目標	評価	前年度評価・達成状況	評価	令和6年度の評価・達成状況	担当部署
働き方	継続	10	令和5年度 CT、MRなどの造影検査における静脈路確保	造影CT、造影MR、核医学検査における静脈路の確保について、看護師に代わり診療放射線技師が代行する。 ※厚労省指定の告示研修修了者のみに限定	C	継続			放射線科 (看護部依頼)
	新規	1	令和6年度 勤務体制の多様化	外来看護師の午後からの病棟勤務					看護部 総務課
	継続	2	令和3年度 妊娠・子育て中の看護職員に対する配慮	妊娠中、子育て中の看護職員の夜勤勤務を本人の申請により減免する。育児短時間勤務については、育児休業規則に応じて実施する。看護職員のニーズに合わせ、時短勤務等勤務を実施する。	A	申出者については、全て対応ができています。			看護部 総務課
	継続	3	令和4年度 残業業務の減少	医師に検査・指示・処置・処方などのオーダーを時間内に入力してもらうように依頼する。看護記録に時間がかかっているのでクランクで記録できる項目を統一する。	C	前年度と同様、残業軽減には至っていないため継続する			看護部
	継続	4	令和5年度 勤務形態	8：00～17：00迄の勤務体制で夜勤看護師の負担軽減	C	看護学生を採用しているが、負担軽減には至っていない			看護部
	継続	5	令和5年度 夜間勤務体制	16対1看護職員夜間配置加算の取得 施設基準取得により各病棟の夜勤者の負担軽減を図る 将来的に12対1を取得したい	A	4月実績で5月1日届出 16対1は達成した			看護部 企画課

令和6年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

新規：今年度目標立案したもの 継続：A評価でも継続して評価を要するもの、またはB以下未達成のもの 完了：目標達成したもの
 評価区分 A：達成した B：概ね達成した C：達成がやや遅れている D：未達成である

区分	項番	目標年度	項目	目標	評価	前年度評価・達成状況	評価	令和6年度の評価・達成状況	担当部署
部門の取組	新規	1	令和6年度 看護体制	セル看護体制の導入によりナースコール対応、患者対応がスムーズで時間短縮につながり残業の減少を図る					看護部
	継続	2	令和3年度 医療機器の管理	医療機器の取り寄せ・管理補充・返却を臨床工学士が行うことで看護業務の充実を図る。	B	医療機器の取り寄せ・管理補充・返却のメーカーへの連絡は行っていたが、メーカーの在庫不足により取り寄せが出来なかったことがあった。			臨床工教室
	継続	3	令和5年度 看護補助者業務の拡大	院内教育後看護補助者が主体的に患者療養や抑制解除に向けた取り組みを看護師と協働して実施できる。	C	継続			看護部
	継続	4	令和4年度 教育体制の充実	コロナ禍で外部、院内での研修参加が減少しているのでeラーニングシステムの導入で自己研鑽に役立つようにする。	B	学研NSSを導入し、各ラダーの選択研修に活用できた。また、院外研修参加の制限下で、自己研鑽、部署勉強会にも活用できている。			看護部
	継続	5	令和3年度 医療機器の管理	医療機器の取り寄せ・管理補充・返却を臨床工学士が行うことで看護業務の充実を図る。	B	医療機器の取り寄せ・管理補充・返却のメーカーへの連絡は行っていたが、メーカーの在庫不足により取り寄せが出来なかったことがあった。			臨床工教室